

にはま会議宣言

日本社会は今、東日本大震災に福島第一原発被災という未曾有の国難に遭遇し、安全安心な社会システムが揺らぎ、再構築しなければならないという大きな岐路に立たされています。また、エネルギーと食料という生命と生活の根幹をなすものの確保に大打撃をもたらしました。そして、エネルギー政策の中での原子力発電の位置付けについては、様々な見解があり、今後も議論を深めていかなければなりません。

私たちは、ここに改めて被災された皆様への哀悼の意を表し、お見舞いを申し上げますとともに、今こそ、被災地の復旧・復興に向けて、全ての英知と資源を結集させなければなりません。

そのような中、「環境と産業の調和をめざして～子どもたちの未来のために」をメインテーマに、全国から多数の仲間が集い、第19回環境自治体会議にはま会議を開催しました。

新居浜市は、公害を体験し、克服してきた歴史がある“まち”です。その先人の取り組みが、豊かな自然の恵みをもたらし、潤いと安らぎを与えてくれています。3日間にわたる議論を通じて、私たちは、この新居浜市の歴史を改めて認識し、新たな気づきにより環境問題解決へのヒントを大いに得ることができました。

環境保全と産業育成は、人々の豊かな生活のための両輪であり、どちらも一方的に抑制されることなく、調和している社会こそが、子どもたちに手渡すべき未来であります。それを実現するには、私たち一人一人が環境に負荷を与える生活を変えていく決意が必要です。また、低炭素社会実現のための人づくり、技術革新など、国内外における持続可能な社会の発展に貢献する産業育成が必要不可欠であることを確認し、ここに次のとおり宣言します。

- 一、先人の知恵に学び、環境保全と産業育成を両立させ、持続可能な地域づくりに努めます。
- 一、災害時の相互支援の仕組みづくりを進めるとともに、安全安心な再生可能エネルギーの確保に努めます。
- 一、一人一人のライフスタイルを見直し、地球温暖化対策を進めます。
- 一、循環型社会の構築を目指し、省エネルギー・省資源化に努めます。
- 一、市民・事業者・行政の協働による環境先進都市づくりを推進します。

平成23年5月27日

第19回環境自治体会議にはま会議
参加者一同